

冬休み前の特別貸出



12月25日(火)の終業式後、図書館で「特別貸出」が行われました。長期休業前には、普段は「5冊まで」の貸出冊数が「10冊まで」に変更されます。

この日は、図書委員会・貸出班が、本を借りた人だけがくじを引ける「クリスマスプレゼント抽選会」を同時実施したためか、貸出手続き待ちの行列ができました。

〈貸出カウンターにて〉

冬休み前の読書会

〈京都の市街図を見ながら語り合う〉

同じく12月25日に、図書委員会・読書班が通算6回目の学期末恒例・読書会を図書室で行いました。

今回読んだ本は、森見登美彦さんの短編集『新釈 走れメロス 他四篇』です。読書会で短編集を取り上げるのは初めて



で、司会進行に戸惑っている様子でした。最後は短編集の全体を貫く作者の京都愛でまとめたものの、消化不良は明らかで、今後の読書会運営に課題を残しました。年明けに反省会を開いて問題点をまとめる予定です。

参加者は1～3年の生徒が7名、先生・図書委員会顧問が合わせて3名の計10名でした。

3学期末は都立小川高校と合同開催の予定です。